

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分  
【発行日】 令和 4 年 11 月 17 日 (2022.11.17)

【公開番号】 特開 2021-78575 (P2021-78575A)  
【公開日】 令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)  
【年通号数】 公開・登録公報 2021-024  
【出願番号】 特願 2019-206782 (P2019-206782)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02 (2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】  
【提出日】 令和 4 年 11 月 8 日 (2022.11.8)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
【補正対象項目名】 全文  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

内部に V 領域と外れ領域とを有する大入賞口と、  
前記大入賞口に入球した遊技球を前記 V 領域と前記外れ領域とに振り分ける振分手段と、  
前記大入賞口への遊技球の入球を検知する入球検知手段と、  
大入賞口を開放した後、前記入球検知手段により規定個数の遊技球が検知されるか、規定開放時間が経過すると、前記大入賞口を閉鎖するラウンド遊技を複数回実行する大当り遊技実行手段と、  
を備える遊技機であって、  
前記ラウンド遊技は、前記入球検知手段により前記規定個数よりも少ない特定個数の遊技球が検知されることを条件として、前記大入賞口を前記規定開放時間よりも短い特定時間だけ一旦、閉鎖し、該特定時間が経過した後に前記大入賞口の開放を再開する特定ラウンド遊技を含み、  
前記振分手段は、前記特定ラウンド遊技において、前記大入賞口が開放してからの経過時間によって、前記 V 領域を一時開放する、  
遊技機。

30

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0006  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【0006】

40

本発明の遊技機は、上述の主目的を達成するために以下の手段を採った。

すなわち、本発明の遊技機は、

内部に V 領域と外れ領域とを有する大入賞口と、  
前記大入賞口に入球した遊技球を前記 V 領域と前記外れ領域とに振り分ける振分手段と、  
前記大入賞口への遊技球の入球を検知する入球検知手段と、  
大入賞口を開放した後、前記入球検知手段により規定個数の遊技球が検知されるか、規定開放時間が経過すると、前記大入賞口を閉鎖するラウンド遊技を複数回実行する大当り遊技実行手段と、

50

を備える遊技機であって、

前記ラウンド遊技は、前記入球検知手段により前記規定個数よりも少ない特定個数の遊技球が検知されることを条件として、前記大入賞口を前記規定開放時間よりも短い特定時間だけ一旦、閉鎖し、該特定時間が経過した後に前記大入賞口の開放を再開する特定ラウンド遊技を含み、

前記振分手段は、前記特定ラウンド遊技において、前記大入賞口が開放してからの経過時間によって、前記V領域を一時開放する、

ことを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本明細書において参考的に開示する参考発明の遊技機は、

大入賞口と、

前記大入賞口への遊技球の入球を検知する入球検知手段と、

大入賞口を開放した後、前記入球検知手段により規定個数の遊技球が検知されるか、規定開放時間が経過すると、前記大入賞口を閉鎖するラウンド遊技を複数回実行する大当り遊技実行手段と、

20

を備える遊技機であって、

前記ラウンド遊技は、前記入球検知手段により前記規定個数よりも少ない特定個数の遊技球が検知されることを条件として、前記大入賞口を前記規定開放時間よりも短い特定時間だけ一旦、閉鎖し、該特定時間が経過した後に前記大入賞口の開放を再開するラウンド遊技を含む、

ことを要旨とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【0008】

この参考発明の遊技機では、大入賞口を開放した後、入球検知手段により規定個数の遊技球が検知されるか、規定開放時間が経過すると、大入賞口を閉鎖するラウンド遊技を複数回実行する大当り遊技実行手段を備える。ラウンド遊技は、入球検知手段により規定個数よりも少ない特定個数の遊技球が検知されることを条件として、大入賞口を規定開放時間よりも短い特定時間だけ一旦、閉鎖し、該特定時間が経過した後に大入賞口の開放を再開するラウンド遊技を含む。このように、本発明の遊技機では、ラウンド遊技として、特定個数の遊技球の入球を条件として特定時間だけ一旦、閉鎖する一時閉鎖期間が設けられたラウンド遊技を含むため、単に規定個数と規定開放時間に従って大入賞口の開放と閉鎖とを繰り返すものに比して、大入賞口の開閉が単調とならないようにして遊技者の遊技興趣の向上を図ることができる。

40